

三葉保育園



三葉保育園長 橋詰 誠子

保育という仕事をさせていただいた中で、たくさんの子どもたちと出会いました。初めての集団生活に戸惑い泣いてしまう子、昼食を食べられずにいる子、そんな姿を見せたのもつかの間、しばらくすると園に慣れ遊び出そうとします。次第に友だちもでき、関わる中でたくさんのお話を学んでいきます。けんかもし、泣くこともあるけれど仲直りをし、また遊べるようになります。そんな繰り返しで成長しているのだと思います。

幼児期は、植物の成長でいえばまさに根っこを育てる時期です。ゆっくり時間をかけて育てていくことが必要だと言われています。根っこがしっかりしているから、そこから幹が生えていきます。そして、その次に枝が出て来ます。これは子どもたちが興味や関心を持ったさまざまな枝だと思っています。

そして、子どもたちはその枝に向かって花を咲かせようとしています。根っこがしっかりしていると、一本枝が折れてもすぐ次の枝に移っていきけるからです。

子どもたちの可能性は無限大です。探索心や好奇心を持ち、たくさん経験したり体験をしたりしながら、大きく成長することを願っております。

保護者の皆様始め、地域の皆様にもご支援、ご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。



子どもの日



三葉保育園外観



もちつき



運動会



お花見



夜間お楽しみ会



豆まき